



イノベーションと創造

令和6年6月30日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

アメリカのGAFAMは、イノベーションと創造において今日のコアコンピタンスの構築を行なったものである。

今日GAFAMを否定できるものはいない。これらアメリカの風土は、その創造性をイノベーションとともに許容するものである。

これらは既存現実に対する固定化という地域的特性と対比される。しかし企業はこれら現実を今日否定することはできないのである。

これらが変化を与え、社会転換や、新たな未来という現実の創造を牽引しているのである。

今日の変化は歴史における変化のスピードに勝るはずであり、変化という現実と時代を生きることその変化を行わなくてはならない。

これらは理解という基盤が、先端性とともに、未来の創造を与えると考える。これは学術性の進歩が技術進歩とともに未来の創造を模索しているからである。

唯一留意されるべきことは、自由経済システムという企業の自由な行動の許容が、その独創性と創造性において未来を提案し行なっていることなのである。

これら破壊的イノベーションは、新しい世界への転換を行なっているのである。

これら変化を兼任することは企業の理想であることは理解すべきである。これら時代を牽引することはその蓄積された理解が飛躍し、新しい現実の創造を行うことなのである。

また卓越したビジョンやアイデアは、その未来と対峙し、その可能性において自己を尋ねるのである。

これらは卓越した経営者が、自らのビジョンを現実化するとき、唯一理解性という基盤において未来を求めることを提案するものである。分からないものはなし得ないからである。